



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう

静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年8月26日朝刊

①マスクをしていると、接客ではどんな問題が出てきますか。

## マスク外さず笑顔で接客

### 顔写真缶バッジ使用

#### 「コロナ下 交流円滑に」



マスクの下の笑顔が分かる「ふじスマイルバッジ」＝富士市富士町

#### 富士の商店会 プロジェクト

富士市の富士駅周辺の活性化に取り組む富士TMO「富士健康印商店会」が新型コロナウイルス感染拡大でマスク生活が続く中、マスクの下の笑顔が分かる写真を缶バッジにして接客などに使用する「ふじスマイルバッジプロジェクト」を始めた。主催者は「コロナ下での円滑なコミュニケーションに役立てば」と活動の広まりに期待する。

プロジェクトは、直径約6センチの缶バッジ「ふじスマイルバッジ」を胸元やストラップなどに付けて使用し、マスクを外した素顔の分かるようにする取り組み。現在、同TMOや駅北、駅南の商店街メンバー計23組44人の申し込みがあり、順次使用を始める。

大木さんは「スタッフの笑顔は店の魅力そのもの。今はマスクを外せないが、笑顔が見えることで人と人との交流が円滑になる」と話し、バッジが各種業界や行政機関、市内

②記事の「ふじスマイルバッジプロジェクト」ではマスクを外さないでどのようにして笑顔を見せますか。

③このプロジェクトにはどんな願いが込められていますか。

④記事の「ふじスマイルバッジ」は接客のほか、どんな時に役立ちそうですか。あなたの考えを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

外で広まることを望む。緊急事態宣言終了後は、街中に足を運んでもらうためバッジを活用したキャンペーンも検討する。9月中旬も検討する。(富士支局・青島英治)


年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校/社会、特別活動、総合)

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年8月26日朝刊

①マスクをしていると、接客ではどんな問題が出てきますか。

## マスク外さず笑顔で接客

(例) 目元しか分からず、お客さんの顔を覚えにくかったり、感情が伝わりにくかったりする。

②記事の「ふじスマイルバッジプロジェクト」ではマスクを外さないでどのようにして笑顔を見せますか。

(例) マスクの下の笑顔が分かる写真を缶バッジにして胸元やストラップなどに付ける。

③このプロジェクトにはどんな願いが込められていますか。

(例) 笑顔が見えることで、人と人との交流が円滑になる(という願い)。

④記事の「ふじスマイルバッジ」は接客のほか、どんな時に役立ちそうですか。あなたの考えを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例) 初対面の人との自己紹介の場でマスクの下の顔を覚えてもらう。(29字)  
商品に付けることで生産者の顔を見て安心して購入してもらう。(29字)  
ホワイトボードに貼り、どんな人がいるか一覧できるようにする。(30字)

など



マスクの下の笑顔が分かる「ふじスマイルバッジ」＝富士市富士町

「目元しか分からず、お客さんの顔を覚えにくかったり、感情が伝わりにくかったりする。」と話し、バッジが各種業界や行政機関、市内

### 富士の商店会 プロジェクト

富士市の富士駅周辺の活性化に取り組む富士TMO「富士健康印商店会」が新型コロナウイルス感染拡大でマスク生活が続く中、マスクの下の笑顔が分かる写真を缶バッジにして接客などに使用する「ふじスマイルバッジプロジェクト」を始めた。主催者は「コロナ下での円滑なコミュニケーションに役立てば」と活動の広まりに期待する。

プロジェクトは、直径約6センチの缶バッジ「ふじスマイルバッジ」を胸元やストラップなどに付けて使用し、マスクを外した素顔の分かるようにする取り組み。現在、同TMOや駅北、駅南の商店街メンバー計23組44人の申し込みがあり、順次使用を始める。

### 「コロナ下 交流円滑に」

## 顔写真缶バッジ使用

外で広まることを望む。緊急事態宣言終了後は、街中に足を運んでもらうためバッジを活用したキャンペーンも検討する。9月中旬(富士支局・青島英治)

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校／社会、特別活動、総合)